

XI 沖縄県家畜衛生試験場年報投稿規程

1988年12月22日施行

1993年11月30日改正

1. 沖縄県家畜衛生試験場年報（以下年報）への論文投稿はこの規程によって行う。
2. 投稿論文の著者は沖縄県家畜衛生試験場（以下当場）の研究員とする。ただし、共著者の場合はこの限りではない。
3. 投稿区分は次のとおりとする。
 - (1) 原著：家畜衛生に関する研究報告、試験成績。
 - (2) 症例報告：病性鑑定事例の紹介など。
 - (3) 短報：継続中の研究の中間報告、試験の部分的な成績。
 - (4) 資料：家畜衛生関係事業、抗体調査成績など。
4. 投稿および執筆要領は次のとおりとする。
 - (1) 原稿用紙はA4版400字詰（20字×20行）の用紙を用い、横書きとする。ワープロ原稿の場合は、行間及び左右の余白を十分とる。
 - (2) 原稿の第1頁左上に投稿区分の別を記載する。
 - (3) 原著と症例報告にあつては、原稿の第1頁に表題、著者名、所属機関および要約を和文で記載し、頁を改めて本文を和文で記述する。本文は原則として、序文（見出しは付けない）、材料および方法、成績、考察ならびに引用文献の順序で記述する。
 - (4) 原著と症例報告にあつては、本文の次頁以降に英文による表題、著者名、所属機関および英文SUMMARYを記載する。
 - (5) 短報にあつては、原稿の第1頁に表題、著者名および所属機関を和文で記載し、引き続き本文を和文で記述する。
 - (6) 筆頭著者および当場の職員である共著者の所属機関名は省略する。当場の職員以外の共著者にあつては、片カッコで番号を付ける。
 - (7) 短報と資料にあつては、本文の記述要領にはこだわらない。
 - (8) 図、表および写真はA4版の白紙に記載あるいは貼付して、図表番号、写真番号および表題を明記し、まとめて原稿の最後に付す。また、その挿入位置を本文原稿の右欄外に明確に指定する。
 - (9) 原稿の記述は和文とし、現代仮名使いを使用する。漢字は専門用語以外は常用漢字の範囲以内にとどめる。略字を用いる場合は、はじめて使用する箇所に完全な語句を掲げ、その後にカッコで括って表示する。また、微生物、動植物の学名などイタリックで印刷する語句にはアンダーラインを付ける。
 - (10) 数字は算用数字を用い、度量衡の単位および略語は原則として次の例に従う。

[例]

M, mM, μ M, N, %, m, cm, mm, μ m, nm, pm, cm^2 , g , ml , μ l, kg, g, mg, μ g, ng, pg, hr, min, sec, msec, rpm, Hz,
Ci, mCi, μ Ci, cpm, dpm, ppb, $^{\circ}\text{C}$, cal, kcal, lux, pH, IU, LD₅₀

- (11) 引用文献は、筆頭著者および共著者の姓のアルファベット順に配列して片カッコで番号を付ける。本文中の引用箇所には、右片カッコで文献番号を付ける。なお、文献の記載方法は下記の例に従う。

[例：雑誌の場合]

著者名：表題、雑誌名、巻、頁（年次）。

- 1) 佐藤邦彦、三浦康男、徳久修一、ほか：オーエスキー病ウイルス抗体に対する各種検出法の比較。日獣会誌, 44, 1172 ~ 1175(1991)
- 2) 竹田多恵：毒素原性大腸菌の産生する耐熱性エンテロトキシン。日細菌誌, 38, 727 ~ 735(1983)
- 3) Laemmli,U.K. : Cleavage of structural protein during the assembly of the head of bacteriophage T4.Nature (London),227,680 ~ 685(1970)
- 4) Vary,P.H.Andersen,P.R.,Green,E.,et al. :Use of Highly Specific DNA Probes and the Polymerase Chain Reaction to Detect Mycobacterium paratuberculosis in Johne's Disease.J.Clin.Microbiol.,28,933 ~ 937 (1990)

[例：単行本の場合]

- 1) 村上洋介：豚ロタウイルス病、豚病学、熊谷哲夫、東 量三、柏崎 守、ほか編第3版、251 ~ 255、近代出版、東京(1987)
 - 2) 清水高正：マイコプラズマ属、新編獣医微生物学、梁川 良、笹原二郎、坂崎利一、ほか編、320 ~ 332、養賢堂、東京(1989)
 - 3) Callow,L.L.,and Dalglish,R.J.:Immunity and immunopathology in babesiosis. immunology of parasitic infection,Cohen,S. and Warren,K.S.eds., 475 ~ 526,Blackwell Scientific Publication,Oxford(1982)
- (12) 引用文献に記載する誌名の略称は、その雑誌が指定する略称を用いる。指定された略称がない場合は、慣例により略記する。

[例] 日本獣医師会雑誌 → 日獣会誌、日本獣医学雑誌 → 日獣学誌

欧文雑誌名の略称は、日本獣医師会雑誌第44巻第12号に掲載の「欧文雑誌名略記一覧」に従う。

- (13) その他の記載要領については、日本獣医師会雑誌第44巻第12号に掲載の「日本産業動物獣医学会誌投稿規程」に準ずる。
5. 年報の編集は編集委員会が行い、原稿の校正は原則としてその筆頭者が行う。
 6. この規程によらない原稿については、内容の変更を求めることがある。
 7. この規程に定めない事項については、編集委員が協議して処理する。

沖縄県家畜衛生試験場八十年史編集事業推進体制

編集委員所属職氏名	担当業務
場長 山内 修	追想
次長 上地 俊秀	第1部、資料編Ⅰ、資料編Ⅳ～Ⅹ
主任研究員 座喜味 聡	第2部第4章
主任研究員 仲村 圭子	第2部第1章、第3部第1章
研究員 大城 聡	第2部第2章
研究員 大城 守	第2部第3章、第3部第2章
研究員 津波 修	第2部第5章、資料編Ⅲ
研究員 片桐 慶人	第2部第1章、資料編Ⅱ

沖縄県家畜衛生試験場八十年史

平成15年3月発行

編集・発行 沖縄県家畜衛生試験場
沖縄県那覇市古波蔵112番地
〒900 TEL(098)832-1515
FAX(098)853-7376

印刷所 有限会社 潮印刷
TEL(098)878-5666

